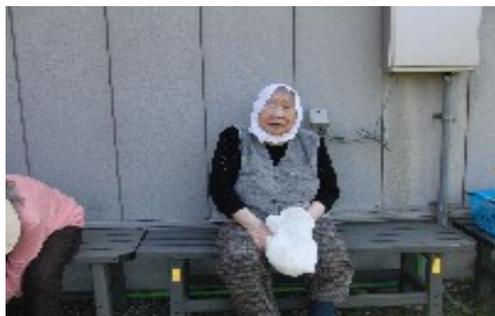


まごころだより

2021年 8月号

“ジャガイモ掘り”

7月に入り、梅雨が明けたら利用者を誘ってじゃが芋掘りに行きました。雨を気にしながら予定をたてて行くことになりましたが、雨どころか日差しが強い日になって、熱中症の心配が作業前からあったほどです。芋掘りの話をすると、途端に気分が変わったのかやる気まんまんの顔つきになって、歩く様子さえしっかりとされているのが見て取れました。現地に到着するやいなや、中には手拭いをほっかぶり、長靴もはいてサアやるぞとさっそうとして畑の中に入っていけます。その手さばきは流石に早く、経験されていたと一目でわかります。掘られた芋を拾っていくと、「あんたそれはいいから、まとめておきなさい」と指示をされ、無駄な動きにも注意をいただきました。みるみるうちに芋が掘られて時間を忘れてしまっていました。気が付けば予定を超えた時刻になっていて、終わりにしようと思えば作業を止めようと思いますが夢中になっておられて何度言っても止められません。やっこのことでそ



の場を離れて休んでももらいました。その表情は晴れやかで満足気な顔をされていました。まだ続けたそうなおられましたが、気持ちを抑えてもらい帰路につきましたが、車中では収穫の話で盛り上がっていました。

“法要”

以前はよく行われていた法要を住職（代表）が行ってくれました。まごころは本来は寺ですのでお勤めをするのは普通のことです。衣をつけるとちゃんと

した僧侶になります。普段は見慣れない格好を見る人はちょっと驚いたような顔をされますが、お勤めが始まると皆さん神妙にされています。ちょっとした緊張の時間でお年寄りには良い刺激になっているのではないのでしょうか。

”音のないカラオケ”

昨年の春にコロナが広がり始めて以来、皆さんが好きなカラオケはやってもらっていません。しかし、音楽がなくても歌は歌えます。声を出すな、歌を唄うなでは納得してもらえませんが、盛り上がり欠けるかもしれませんが、歌本を見ながらみんなで



歌ってもらうことにしました。マイクがなくてマスクをしてもらっての歌でしたが、それなりに楽しそうに歌っておられました。少しでも早くこんな窮屈な状況から抜け出したいのですが、まだまだ先のようにも見えます。まごころを利用いただいている方の多くがワクチン接種をされていますが、安心できるようになるまで用心は必要です。基本的な感染対策は欠かさぬよう続けていきます。